

海を身近に感じる人が減っている今
「海を伝える人」が必要です

海洋学習 指導者養成講座

福岡県北九州市にて開催

2025年
1/25 土
10:00~17:00
参加費 **4000**円 (税込)
定員 **30**名

海を活かした学びの場をつくろう

福岡県北九州市は、1960年代、工業化に伴う海洋汚染で「死の海」と呼ばれた洞海湾を、市民・行政・企業の連携により復活させ、環境再生都市として世界的な注目を集めています。しかし一方で、現在の北九州市は沿岸域の藻場枯れや海岸漂着ゴミなど、新たな海洋環境課題に直面しています。

海を身近に感じる人が減っている今、あらためて海について学び、海を伝え守る活動をはじめませんか？ 海や環境問題に関心のある方、企業・団体でSDGsに取り組む方、地域活動や社会教育に関心ある方など広く募集します。

講師

高田 浩二 氏

博士(学術) 学芸員
海と博物館研究所 所長



海洋教育、博物館教育、地域連携教育のスペシャリスト。マリンワールド海の中道の元館長。地域資源を活かした学びの場作りの実践研究者。

内容

午前 高田氏による講義

『地球環境を創った海藻が再び地球を救う』

- ・ 森・里・川・海の繋がりとは？
- ・ 身近な海洋環境「藻場」の役割や危機とは？

『地域の教育資源活用と海の力を借りた学び』

- ・ 海をテーマにどのような企画ができるのか？

午後 ワークショップ

『海洋学習教材LAB to CLASSの体験と活用』

- ・ 明日から使える体験型海洋学習教材のレクチャー
- ・ 海を伝える、海を守る活動をはじめするには？



主催

海の環境教育NPO bridge



<https://lab2c.net>

海でも、海に行かなくてもできる！
無料で使える海洋学習教材サイト運営中
全国各地の海洋自然研究者やフィールドワーカーと連携して、海を学ぶ場をつくる海の環境教育NPOです。ただいま北九州版の海洋学習教材を制作中！

会場

タカミヤ環境ミュージアム



JRスペースワールド駅から徒歩5分
北九州市の環境再生の歴史を学べる施設
洞海湾の公害克服の歴史や、世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取り組みなどを「見て・触れて・楽しみながら学べる」場所。

海を守れ！海洋環境保全アクションを起こす市民の輪プロジェクト
海洋学習指導者養成講座 in 北九州
主催：海の環境教育NPO bridge、海洋学習教材サイトLAB to CLASS
後援：北九州市、北九州市教育委員会
協力：若築建設株式会社、わかちく史料館
※本事業は真如苑「環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”」と、東京コミュニティ財団「ファンダクション基金」の助成を受けて実施します。

申し込み
締め切り
1/13 月
まで

お申込み
お問合せ

海の環境教育NPO bridgeホームページの専用フォームよりお申し込みください

☎ 070-5274-6262

担当者
やぎさわ

海の環境教育NPO bridge



メール umi.kitakyu@gmail.com ホームページ <https://npo-bridge.org>

詳細は
こちら→

海洋学習 指導者養成講座 in 北九州

～海を活かした学びの場をつくらう～

海の環境教育NPO bridgeは、海洋自然を切り口に、体験型の環境教育プログラムを企画・運営するNPOです。海の自然の楽しさや魅力を十分に理解し、「海の生きもの」への共感に基づいた環境保全意識を持つ人材を育成するために、全国各地の海洋自然研究者やフィールドワーカーと連携して、海を学ぶ場をつくっています。この度、真如苑 環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”の助成をいただき、福岡県北九州市にて「海を守れ！海洋環境保全アクションを起こす市民の輪プロジェクト」を開始しました。海洋学習指導者養成講座in北九州では、高田浩二氏（海と博物館研究所 所長）による講義や、体験型海洋学習教材 LAB to CLASS の体験、ワークショップを行います。本講座の終了後、参加者が「海の伝え手」となり、所属するそれぞれの施設や地域活動において海を活かしたイベントや企画を実践することで、地域内に海を楽しく学べる場が増え、海洋環境問題や保全活動に意識を向ける人々が増えていくことを目指します。

本講座のゴール

- ・森・里・川・海の繋がりと、海洋環境課題について学ぶことができる。
- ・LAB to CLASS海洋学習教材を活用しながら、海洋学習を実施できるようになる。
- ・子どもたちが楽しみながら海を学ぶ講座やイベントを開催できるようになる。
- ・北九州市沿岸での海洋自然体験やビーチクリーンを行う団体や、海的环境保全活動に関心がある人々とつながることができる。

タイムスケジュール

9:45～10:00	受付
10:00～10:20	あいさつ、アイスブレイク
10:20～11:00	講義 1 「地球環境を創った海藻が再び地球を救う」
11:00～11:15	質疑応答
11:15～11:45	講義 2 「地域の教育資源活用と海の力を借りた学び」
11:45～12:00	質疑応答
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:45	海洋学習教材 LAB to CLASSの紹介・体験
14:45～15:45	グループワーク「海を活かした学びの場をつくるには」
15:45～16:00	グループワーク全体共有・まとめ
16:00～16:15	アンケート
16:15～16:45	交流会（希望の方のみ 名刺交換など自由に交流ください）

※17:30より、会場付近のお店で懇親会を行います。

こんな方におすすめです

- ・所属する施設や地域で、海をテーマにした企画をしたいと考える方（博物館/NPO/市民センター/公民館/学校/学童/保育園/幼稚園/飲食店/レジャー施設の方など広く募集します）
- ・海について学び、海が抱える課題について考えたい方
- ・海を伝えたい、守りたいと考える方
- ・海洋教育や環境教育、海を活かした社会教育に関心のある方
- ・体験型海洋学習教材LAB to CLASS (<https://lab2c.net>) を活用したい方



<https://lab2c.net>



海洋学習教材

LAB to CLASSとは

海の研究者や環境教育の専門家が、分野・地域を超えて集まり、協力して創った「海を学ぶためのサイト」です。学校の先生や社会教育の指導者が、海に関する学習活動を行うときに役立つ「体験型教材」や「資料」を、多様な切り口で紹介しています。教材は、無料でダウンロードしてお使いいただけます。海の研究が行われている「ラボ（実験室）」と「教室（クラス）」を結びつけ、「海を楽しく学ぶ場」を日本中に増やしたい！と考えています。

講座の事前課題について

講座当日までに、簡単な事前課題を2点ご用意しています。講座内容の理解がより深まりますので、ぜひ楽しみながら取り組まれてください。

- 1) 動画「わたしたちの暮らしと海」を3本視聴する。（各3～6分程度）
 - ① 洞海湾から大海原へ。森と海のつながり
 - ② 海のプラスチックごみはどこから来たの？
 - ③ 洞海湾～希望の海動画提供：若築建設（株）
制作協力：（特非）海的环境教育NPO bridge
- 2) 地図で皆さまが普段活動されている地域周辺の地形図を見ながら、「森、川、町、街、海」にどのような繋がりがあるかを考える。
※事前課題の詳細はホームページをご確認ください

お申込み
お問合せ

海的环境教育NPO bridgeホームページの専用フォームよりお申し込みください

☎ 070-5274-6262

担当者
やぎさわ

海的环境教育NPO bridge



メール umi.kitakyu@gmail.com ホームページ <https://npo-bridge.org>

詳細は
こちら→

